

和歌山県 高校入試情報

令和7年度和歌山県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問数：地2，歴2，公2の計6問（昨年と同じ）
- 小問数：38問（昨年と同じ）
- 文章記述問題：7問（昨年と同じ）
- 出題傾向について
- 各分野とも基本的な知識を問う問題が広範囲から出題されている。
- 地理・公民分野では統計資料を用いた問題が出題されている。
- 歴史分野では並べ替え問題が2問出題されている。
- 地理分野で大阪・関西万博，公民分野で新紙幣をテーマに設定した出題が見られた。

★和歌山県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■ 資料読み取り問題の出題

・地理に加えて公民でも，県や国の統計など資料を読み取り，考察する問題が出題されている。複数の資料を読み取り，内容を正しく関連付ける力が必要。



新研究で対策！

- 解説ページの「入試によく出る資料読取」コーナーで，よく出る資料の読み取り問題を出題しています。
- 「フォロー特集 わかる！さまざまなグラフの読み取り方」(p. 24～25)で，いろいろなグラフの読み取り方をおさえられます。
- 「資料活用問題に強くなろう！」(p. 178～183)は，例題で読み取りの基礎をおさえたあと，最新入試問題で練習ができるように工夫しています。

■ 歴史の時代関係の問題の出題

・例年，歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため，テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。



新研究で対策！

- 「特集 流れでみる歴史」(p. 114～119)で，同時代のできごとを整理。「ふりかえりチェック 歴史年表編」(p. 120～121)で，すべての時代の流れをつかむことができます。
- 「並べかえ問題に強くなろう！」(p. 190～191)では最新の入試問題で並べかえ問題がしっかり練習できます。

★新研究で出題した和歌山県の入試問題(令和7年度)

◆p.17 大問2 ◆p.133 大問2 ◆p.151 大問3 ◆p.182 大問2 ◆p.186 大問2

和歌山県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★和歌山県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●
		日本の姿	●	●	
		世界各地の人々の生活と環境	●		●
		アジア州	●	●	●
		ヨーロッパ州，アフリカ州	●	●	
		北アメリカ州，南アメリカ州，オセアニア州		●	●
		地域調査の手法		●	
		日本の自然，人口	●	●	●
		日本の資源・産業，世界との結びつき	●	●	●
		九州地方，中国・四国地方		●	
		近畿地方，中部地方	●		●
		関東地方，東北地方，北海道地方	●	●	●
	歴史的分野	文明のおこりと日本	●		●
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●	●	●
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●	●	
		近代日本の歩み		●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活	●		●
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●
		現代の民主政治，国会	●	●	●
		内閣・裁判所，三権分立	●	●	●
		地方自治		●	●
		消費生活と流通・生産，市場経済と金融	●	●	●
		財政，国民生活と福祉	●	●	
		地球社会と私たち	●		●
出題形式別の傾向	分野統合				
	大問数	6	6	6	6
	小問数	38	38	38	38
	記号解答	18	15	17	16
	用語記述	13	16	14	15
	文章記述	7	7	7	7
	作業・作図				